

J R 東日本労働組合

NAGANO



E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp

ホームページはこちら

2024年7月7日 No533
JR 東日本労働組合
長野地方本部
発行者: 臼井幸一
編集: 情宣部

みどりの窓口が復活!!

JR 東日本は、夏の繁忙期に計50駅を対象として「みどりの窓口」を増設することを明らかにしました。この間、「みどりの窓口」の削減が進められてきたことにより、「みどりの窓口」がある駅にお客さまが殺到し大行列となり、ご迷惑をお掛けしている事態が発生しているということがインターネットニュース等でも報じられていました。今後夏の繁忙期となり、お客さまにご迷惑をかけることがないようにするための「復活」であると思いますが、JR で働く皆さんはどのように感じますか??

「駅の変革のスピードアップ」の名の下に…

2021年4月にスタートした「駅の変革のスピードアップ～PULS Value の実現に向けて～」において、チケットレス化・モバイル化を推進していくことが発表され、「みどりの窓口」は2025年までに首都圏231駅→70駅程度、地方圏209駅→70駅程度に削減していくことが明らかになりました。私たち東日本ユニオンは、JR 東日本をご利用されるお客さまと現場第一線で働く社員の視点から議論を重ねてきましたが、実際に「みどりの窓口」の削減は進み、その結果現在のようなお客さまにご迷惑をお掛けし、駅で働く社員の苦勞を生み出すことになってしまったのです。

システム化への見通しが甘かったのでは?

チケットレス化・モバイル化への移行は今後必要不可欠であることに間違いありません。しかし、スピードアップして進めることよりも、もっと現状を踏まえた上で進めていくべきことではないでしょうか? 施策を進めることを第一に考え、実態を軽視した効率化を推し進めた結果が、多くの現場において問題が発生している現状をつくり出してしまったと言わざるを得ません。

現場実態を第一とした施策に転換させていこう!!